



今年のミス雪椿の三人から、一年間イベントで活躍していただきます。
左からミス雪椿 斎藤晴香さん、ミス雪椿クイーン 亀山千穂さん、ミス雪椿 駒村優佳さん

主な内容

- 第52回雪椿まつり開催…………… ②⑥
- 登山シーズン開幕 粟ヶ岳山開き…………… ⑦
- 雪椿杯争奪バレーボール大会結果…………… ⑦
- 第39回雪椿マラソン結果…………… ⑦
- 加茂の風土記 ～戊辰戦争秘話～…………… ⑧

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室 20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆 個室を希望しています。
新加茂病院の隣りに病児保育園を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！
この二つこそ絶対必要な少子化対策！
産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。

第52回 雪椿まつり



第五十二回雪椿まつりは、四月上旬のトレジャーハンティングから二十九日の市民茶会までのイベントが開催されました。メインイベントの大園遊会は二十二日に市民体育館で行われました。会場では、ミス雪椿公開審査、歌謡ショー、大島町との交歓行事を大勢の皆さんから楽しんでいただきました。

■大園遊会

今年も四月上旬に好天が続き、加茂山公園のユキツバキとサクラは大園遊会開催の前に満開を迎えてしまいました。

大園遊会の開会が宣言されたあと、ミス雪椿公開審査が始まり、秋扇会の踊りとともにミス雪椿候補の十名がステージに登場しました。自己紹介や特技をアピールした後、会場内の皆さんから投票していただきました。午後二時からミス雪椿発表で、ミス雪椿クイーンに市内から出場 of 亀山千穂さん、ミス雪椿に斎藤晴香さん、駒村優佳さんに決まりました。ミス雪椿の三人には来年度の雪椿まつりまで加茂市の観光PRやイベント・セレモニーで活躍していただきます。

この公開審査の前に昨年から一年間活躍していただいたミス雪椿の寒河江美樹さん、馬場佳織さん、



大園遊会は市民体育館で開催

小玉早矢夏さんに会場の子どもたちから花束と大きな拍手が贈られました。

続いてアトラクションは、加茂松坂協会の「加茂松坂」、星栄会の「片恋酒」、ザ・松坂の「加茂小唄」、秋扇会の「あばれ太鼓」が披露されました。そして、ゲスト歌手・工藤あやのさんの歌謡シ



菊田真紀子 衆議院議員



樺澤 尚 新潟県産業労働観光部
観光局長 (新潟県知事代理)



林 直人 JR東日本新潟支社
営業部販売課長 (支社長代理)

ヨーと続きます。工藤あやのさん
は出身地山形の方言を織り交せて
のお話しと五曲の歌で楽しいステ
ージとなりました。

午後一時からは友好都市大島町
との交歓会です。三辻利弘大島町
長から「昭和六十一年の三原山大
噴火、平成二十五年の台風被害で
は加茂市からのあたたかいご支援
を忘れたことはありません。今は
台風被害からの復旧もほぼ完了し、
未来に向けた復興が進められてい
ます。」とあいさつされました。
小池清彦加茂市長は「椿が縁で五
十年も続いている交流は、本当に
すばらしいと思います。日本一の
景勝地である伊豆の大島町と友好
都市になっていくお陰で、加茂市
が北越の小京都であることが当然
のこととして認められています。
これからも交流は永く続いていき
ます。」とあいさつしました。記
念品交換で、加茂市から桐三段小
箱が、大島町からツバキの花焼き
大皿がそれぞれ贈られたあと、大
島町婦人会による「大島あんこ節」
と「島椿」の踊り、勇壮な御神火
太鼓が披露されました。

■市中パレード

新しいミス雪椿の三人をお披露
目するパレードが、午後三時にJ
R加茂駅前をスタートしました。
ミス雪椿クイーンの亀山千穂さん
とミス大島の浜野歩美さん、ミス
雪椿の斎藤晴香さんと駒村優佳さ
んが自衛隊新発田第三十普通科連
隊のオープンカーから笑顔で沿道
からの声に手を振って応えていま
した。

パレードは県警音楽隊とカラー
ガード、ボイススカウト、交通安
全協会、交通安全母の会と子ども



握手を交す小池市長と三辻町長



迫力ある大島町の御神火太鼓



大島町婦人会による踊り



工藤あやのさんの歌謡ショー

たち、ブラス・ワン、大島町の皆さんと御神火太鼓、陸上自衛隊音楽隊、BFC少年消防クラブ、本量寺こども園、須田保育園の皆さんが参加しました。

■雪椿マラソン

市中パレード出発前、午後二時三十分にJR加茂駅前を九十一人がスタートしました。コース沿道から声援を受けながら、大通り・道半交差点・昭和橋・八幡桜並木を通る3kmと8kmコース九部門で出場者全員が完走しました。

■8日(日)

雪椿杯バレーボール大会

県内七市町から十四チームが出場しました。開会式で前年度ミス雪椿の三人と小池加茂市長から出場チームに雪椿の苗木と加茂美人の湯招待券などが贈られました。結果は四日町クラブ(三条市)が昨年に続き三回目の優勝を決めました。

■8日(日)

トロジーヤーハンティング

前日からの雨と雪で市民体育館での開催となりました。垂直の壁を登るボルタリングなど八つのアトラクションが用意され、子どもたちはそれぞれのゲームに挑戦して、イベントオリジナルのカードを集めていました。

■29日(祝) 市民茶会

晴天に恵まれ、杉木立の野点、青海神社拝殿と貴賓室の三席で開催されました。和服で来られるお客様も多いようでした。二十二日の大園遊会でミス雪椿クイーンになった亀山千穂さん、ミス雪椿の斎藤晴香さん、駒村優佳さんも各茶席を訪れ、おいでいただいたお客様に加茂市のPRをしていただきました。



ザ・松坂による「加茂小唄」



星栄会による「片恋酒」



秋扇会による「あばれ太鼓」



加茂松坂協会による「加茂松坂」



県警音楽隊とカラーガードのパレード



市中パレード前にスタートした雪樺マラソン



交通安全母の会と交通安全協会の皆さん



ブラス・ワンのパレード演奏



B.F.C少年消防クラブによる鼓笛隊演奏



陸上自衛隊音楽隊の演奏



須田保育園園児によるパレード演奏



本量寺こども園園児の幼年消防クラブ



青海神社拝殿 宗偏流の茶席



二年ぶりの野点 裏千家流の茶席



青海神社貴賓室 表千家流の茶席



幅広い年代のお客様がお茶席を楽しむ

8日のトレジャーハンティング



雪椿杯争奪加茂市近郷家庭婦人バレーボール大会



栗ヶ岳 山開き



栗ヶ岳登山シーズンの幕開けとなる山開きが、四月二十九日に行われました。水源第二ダムの中央登山入口で栗ヶ岳登山の安全祈願が行われ、北澤忠男加茂山岳会会長、皆川正美加茂警察署長、小池清彦加茂市長が登山道のテープカットを行うと、待ちわびた約二百人が山頂目指して出発しました。今年は一・二月の大雪の割に三月下旬から高温で七合目付近に残雪があるくらいだという事です。栗ヶ岳登山は十一月三日の山開きまで県内外からの人でにぎわいます。



第39回雪樺マラソン大会結果

期日 四月二十二日

出場・完走選手 九十一名

〔3kmコース・駅前〜道半交差点〜

八幡桜並木〜ゴール〕

▼小学三・四年生男子の部①関川朋

(加茂FC Jr・下条小) ②菅森達丸

(加茂レッドファイヤードッジボー

ルクラブ・下条小) ③大橋唯斗(加

茂Jr陸上・石川小) ▼小学三・四年

生女子の部①山崎夢夏・最優秀選手

賞(三条ジュニア) ②廣川七海(加

茂Jr陸上・石川小) ③小池優衣(加

茂Jr陸上・加茂南小) ▼小学五・六

年生男子の部①亀山翼(加茂FC

Jr・石川小) ②角田樹一(加茂Jr陸

上・加茂小) ③渡辺彪我(三条ジュ

ニア) ▼小学五・六年生女子の部①

小田晴琉(五泉少年マラソンクラ

ブ) ②柳生田紗和(加茂Jr陸上・石

川小) ③佐藤亜優(七谷小) ▼中学

生男子の部①本間杏之輔・最優秀選

手賞(胎内市立中条中) ②井上卓哉

(葵中) ③内田善登(三条市立第四

中) ▼一般・高校女子の部①関川実

穂(加茂農林高) ②波塚美奈子③上

田結月(加茂農林高) ▼壮年男子

(40歳以上)の部①高井滋(いか

らしの里) ②小柳健一(新潟中央短

大職) ③阿部卓(五泉市)

〔8kmコース・駅前〜道半交差点〜

八幡桜並木〜猿毛公民館〜ゴール〕

▼一般・高校男子の部①小川友之

(T&M) ②松澤孝幸(五泉市) ③

鈴木彰(五泉市)

第34回雪樺杯争奪

加茂市近郷家庭婦人

バレーボール大会結果

期日 四月八日

会場 勤労者体育センター

参加 県内十四チーム

優勝 四日町クラブ(三条市)

準優勝 白鳩(新潟市)

三位 つかさクラブ(加茂市)

ほないクラブ(三条市)

〔個人賞〕

最優秀賞 長谷川師子

(四日町クラブ)

優秀賞 渡辺恵奈(白鳩)

技能賞 土田修子(四日町クラブ)

土屋聡子(白鳩)

敢闘賞 金子尚美(つかさクラブ)

長谷川佳子

(ほないクラブ)

桑名藩の松平定敬、加茂町に入る

（戊辰戦争秘話）

慶応四年（一八六八）一月六日に

始まった鳥羽伏見の戦いは、会津藩・桑名藩・幕府軍と薩摩・長州の戦いで、加茂地方にも影響を及ぼした。

幕府軍の敗色濃くなると、將軍徳川慶喜は会津藩主松平容保・桑名藩主松平定敬らと大坂城を脱出し、海路江戸に戻った。江戸に戻った定敬はすでに藩主を義弟に譲っていたため本国には戻れず、長岡藩が世話した外国船に同乗し、函館回りで新潟に上陸して、陣屋のある柏崎に着いた。

た。

当時、町役から下りていた市川正平治は閏四月十六日に大昌寺にいた桑名藩から元藩主の本陣を務めるよう言い渡された。到着は翌日十七日夕刻で市川家に五月一日まで逗留した。松平定敬は、十日を過ぎた一日未明にこっそりと市川邸をあとに会津を経て仙台に向い、榎本武揚の艦隊で箱館（函館）へ渡った。その後明治二十七年、兄の容保の跡を受けて日光東照宮宮司に就いている。そして同四十一年に六十一歳で死去した。

当時、長岡城が新政府軍の攻撃により落城、加茂町は会津藩・長岡藩始め奥羽列藩同盟軍が入り、城奪還を目指す長岡藩の主導で軍議が市川邸で開かれた。八月に入ると再落城を機に三条・加茂方面に引いた同盟軍と新政府軍の間で、下条の大原御台場の戦いがあった。下条村のなかには家屋や小屋が焼かれ、流れ玉に当たり犠牲者も出た。

市川家では、戦局の急転により米沢藩が残っていた鉄砲・弾薬を川向かいの持ち畑に埋めたが、桑名藩を名乗る兵士がやってきてそれを掘り出し、兵器・具足などを持ち去ったという。その後、会津藩の衝鋒隊・遊撃隊が大勢市川邸に土足で入り、隊士は残してあった具足を銘々勝手に着用、家内の衣類を奪い取り、抜刀して家人を驚かせ、さらに米を二百俵差し出させたという。そして引き払う八月五日未明には町のあちこちに火を付ける有様であった。

町一番の富裕者市川家が戊辰戦争に際し、両軍から本陣、宿舎の提供や米の差出しなど大変な労苦があった。町や村の人も前線地となった恐怖を強いられ多くの犠牲もあった。

加茂の風土記



明治期の市川家屋敷図
母屋は下側（県道側）にあり、現在、加茂信用金庫、第四銀行、北越銀行となっている。（市川浩一郎文書）

（関 正平）

社会福祉費寄附金

▼加茂菓子組合から 十万円



人口のうごき

4月1日現在
世帯 10,291 (+ 5)
人口 27,510 (-126)
男 13,362 (-52)
女 14,148 (-74)
()内は前月比
(3月異動分)
出生 6 (男3女3)
死亡 33 (男19女14)
転出 181 転入 82